

世界に送り出したいのは

# 自衛隊ではなく平和憲法

## 憲法改悪を競いあう 自民・公明・民主

小泉首相は、アメリカの要請に応え、自衛隊のイラク派兵に続いて、有事法制を導入、憲法改悪まで強行しようとしています。

国会に設置された憲法調査会は、2005年1月には改憲の方向を打ち出す最終報告を発表するとしています。

自民党は、2007年度めざし憲法改定の動きを強め、「『自・公・民』の大連合」（森前首相）の発言まで飛び出しています。

民主党の岡田代表は、9条の明文改憲を表明。訪米先で「改憲して、国連決議のもとで海外での武力行使容認すべき」と表明しました。

## 財界が改憲へ動く 憲法まで“買収”

財界の動きも急。日本経団連は、5月27日の総会で憲法「改正」に向けて運動方針を決定。この中で、同会として初めて憲法「改正」問題の専門委員会を新設しました。

日本経団連の夏季セミナーで、奥田会長は、「東アジアで、日本がリーダーシップをとるには軍事力増強が必要」と問題提起をしています。

同会は、政党の政策を採点し、それにもとづき企業献金を再開。憲法改定も“買収”を狙っています。



# 憲法

# 9

# 条を守りましょう

## 憲法9条は 日本の宝、 世界の流れ

憲法には、国民の苦難の歴史と反省がこめられています。「戦争をしない国」を宣言した憲法9条は、世界から尊敬されています。

いま、世界の人々は、数千万人が立ち上がったイラク戦争反対運動が示したように、アメリカ政府による戦争に反対し、新しい歩みを始めています。



## ご一緒に 力をあわせましょう

世界の流れに逆行する憲法9条の改悪は、絶対許してはなりません。

国会での憲法改悪の発議を断念させ、戦争のない平和な世の中をつくるために、手をつなぎましょう。「戦争反対」「平和憲法守れ」の共同が大きく広がれば、憲法改悪をやめさせることができます。

